

事業推進のためのデータ活用

住民サービスの向上やデータに基づく政策立案等に取り組むため、官民が保有する多様なデータの有効活用の必要性や活用事例、データを活用した課題解決やICTによる業務効率化の検討手法等について学びます。

日 程	令和8年12月7日(月) ～ 12月11日(金)		
場 所	市町村職員中央研修所（市町村アカデミー） 千葉市美浜区浜田1丁目1番地		
対 象	中堅職員以上		
定 員	50人		
受講費	23,650円	※左記受講費は予定となります。 決定金額は受講決定通知にてお知らせします。	
申込期限	令和8年9月1日(火)		
申込方法	市町村アカデミー「WEBポータルサイト」からお申込みください 市町村アカデミーホームページ右側に表示される「申し込みはこちら」をクリックして開いた「WEBポータル」からお申し込みください。 ※「WEBポータル」のご利用にあたっては、アカウントの作成が必要となります。		
お問い合わせ	市町村職員中央研修所研修部 TEL 043-276-3126 URL https://www.jamp.gr.jp/inquiry/ps-contact/inquiry/index.php		

※記載内容は、都合により変更となることがありますので、予め御承ください。
※研修開始の約1週間前に「WEBポータル」を通じて「時間割」を掲示しますので、最新情報をご確認ください。

研修の
ペーパーレス化

研修受講にあたっては、講義資料等の指定された電子データを「WEBポータル」から予めノートPC等の端末にダウンロードしたうえで持参してください。
持参した端末は、演習班ごとに課題演習の発表資料を作成する際にも使用します。
端末の持参が難しい場合は、講義資料等を紙に印刷して持参してください。

Time Schedule

12月7日／月	13:15 – 14:45	入所	15:00 –	開講式・オリエンテーション
	16:30 –	課題演習（討議）	数人の演習班に分かれ、各市町村が直面する政策課題をテーマとして、自主的なグループ討議を行います。	
12月8日／火	9:00 – 14:10	ロジックモデルによる政策立案・評価（講義・演習）	EBPMの前提として、政策効果に関する因果仮説を「ロジックモデル」として描いておくことが重要です。EBPMでは、このロジックモデルが実際のデータ等によって裏付けられるかどうかを検証します。本講義では、政策効果の検証だけでなく、評価指標の導出、ロジックモデルによるマネジメントや事業の見直し、参加型評価の効用などについて解説します。	
	14:25 – 15:35	RESAS（地域経済分析システム）、RAIDA（地方創生データ分析評価プラットフォーム）の活用（講義）	地方公共団体の政策立案におけるデータ活用を支援する、RESAS（地域経済分析システム）およびRAIDA（地方創生データ分析評価プラットフォーム）の概要と、実務で役立つ基本的な活用方法を学びます。	
	15:50 – 17:45	課題演習（討議）		
12月9日／水	9:00 – 12:00	公務員のかんたんデータ活用術（講義）	自治体職員である講師が実務で活用してきた豊富なデータ分析を題材にしながら、明日から誰でも簡単にできるデータ分析方法と政策への活かし方を学びます。	
	13:00 – 15:35	EBPMの実践～データで伝えるエビデンスと対話～（講義）	EBPMの実践に向け、データを政策判断や事業改善に活かすための考え方を学びます。費用や効果を整理し、指標として捉えながら検討する視点や、データを根拠とした意思決定、住民との合意形成の進め方について理解を深めます。	

研修のご案内は「JAMP Newsletter」でも配信しています。

<https://www.jamp.gr.jp/issue/mailmagagin/>

JAMP Newsletter

検索

Time Schedule

12月9日／水

15:50 - 17:00

事例紹介（レクチャー&フォーラム） ～人口8.5万自治体が取り組むEBPM 推進サイクルの構築～

岐阜県関市財務部行政情報課デジタル推進室主事
脇田 洋平 氏

岐阜県関市におけるEBPMの推進に向けたデータ利活用の取組について学びます。データを活用した行政運営の推進や、組織内での活用定着に向けた体制づくりなど、EBPMを効果的に進めるための考え方やポイントについてご紹介いただきます。

17:00 - 17:45

課題演習（討議）

12月10日／木

9:00 - 12:00

活用事例から学ぶe-Stat、jSTAT MAPの使い方（講義・演習）

総務省統計局（組織対応）

「政府統計の総合窓口（e-Stat）」や「地図で見る統計（jSTAT MAP）」を用いた統計データの利活用方法について、具体的な活用事例を踏まえながら学びます。

13:00 - 15:35

統計学に基づくデータ分析のポイント （講義・演習）

和から(株)経営企画室
室長兼データサイエンティスト
岡崎 凌 氏

アンケートの分析方法、量的データと質的データの要約、平均や標準偏差を活用した分析手法、データ間の関連性を調べる方法、データ分析の流れと実践方法等について学びます。

15:50 - 17:45

課題演習（討議）

12月11日／金

9:00 - 12:00

課題演習（発表・講評）

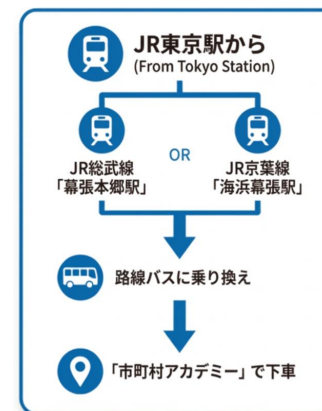
高崎経済大学地域政策学部・大学院地域政策研究科教授、高崎経済大学地域科学研究所所長
佐藤 徹 氏

各班の討議結果を全員の前で発表用レジュメを用いて順次発表し、質疑応答や意見交換を行い、講師から講評をいただきます。

12:10 - 修了式

Memo

研修所へのアクセス



JR東京駅から
JR総武線 幕張本郷駅
または
JR京葉線 海浜幕張駅 下車
▼
路線バスに乗り換え
「市町村アカデミー」下車

羽田空港から
高速バス 海浜幕張駅で下車
▼
路線バスに乗り換え
「市町村アカデミー」下車

来所には公共交通機関をご利用ください

研修に関する準備物や研修所内での過ごし方については、
「研修のしおり」をご覧ください。
<https://www.jamp.gr.jp/students/guidance/>

